

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

令和元年度 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 臨時会員総会が開催される

令和元年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会臨時会員総会が令和2年3月19日(木)に大宮ソニックシティ市民ホール401号室で開催された。本臨時会員総会の議案審議内容は、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会令和2年度事業計画案、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会令和2年度収支予算案であった。

総会は濱本隆明事務局次長の進行により始まり、最初に神山清志会長の挨拶が行なわれ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のため各イベントに参加自粛があるにもかかわらず、参加された会員の皆様のご協力に感謝の意を表された。

議案審議に入る前に出席者から長谷川隆氏(浦和医師会メディカルセンター)が議長に任命され、長谷川議長より総会役員が指名された。資格審査委員長に神嶋敏子理事、資格審査委員には東部地区から松内萌氏(越谷市立病院)、南部地区から急志政志氏(埼玉県立小児医療センター)、西部地区から鈴木翔子氏(東松山医師会病院)北部地区から笹野勝年氏(熊谷総合病院)が任命された。また、書記には石井千晴氏(越谷市立病院)と鈴木由美子氏(浦和医師会メディカルセンター)が、議事録署名人には、飯塚桂子氏(東武医学技術専門学校)と関口久男氏(埼玉県済生会栗橋病院)が任命された。

審議前に長谷川議長は、「本日18時30分現在の出席者数は52名、委任状出席者数1,694名、議決権行使書数449名で、合計2,195名となる。この数は第一号から第二号議案を審議するための必要者数である3月1日現在の全会員数3,152名の過半数を超えており、定款第十八条の規定により本総会が成立する。」と宣言された。(議会の出席者確定人数は61名で合計2,204名)

議事審議は神嶋議事運営委員長より議事日程が提案され、それに沿い長谷川議長の進行により開始された。臨時会員総会の第一号議案である令和2年度事業計画案を神山会長、矢作強志副会長、岡田茂治副会長から説明があった。第二号議案である令和2年度収支予算案を松岡優副会長より報告があり、両議案とも質疑応答はなく、議決権行使書449名中、反対0名で、出席者拍手多数によって承認された。



議長 長谷川氏



神山会長

これにて、総会役員、書記が解任となり臨時総会は閉会した。総会は、長谷川議長による円滑な議事進行と出席していただいた会員の皆様のご協力により滞りなく開催することができた。長谷川議長、総会役員ならびに会員の皆様に深謝する。

追記 今回、総会に先立ち昨年12月1日に開催された第47回埼玉県医学検査学会での優秀発表賞等の表彰が久保田亮理事の進行で行なわれ、14名の方が受賞された。受賞された皆様には謹んでお祝いを申し上げたい。また、総会終了後、第48回埼玉県医学検査学会の武関雄二学会長より学会企画の案内があり、学会参加や演題募集等の協力についてのお願いがあった。

○優秀発表賞

田中満里奈（埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科）

阿久津和代（JCHOさいたま北部医療センター）

藤村 和夫（埼玉県済生会川口総合病院）

田中 智也（さいたま市立病院）

長田 知美（医療法人康曜会 プラーナクリニック）

長澤 彩華（獨協医科大学埼玉医療センター）

宇津木真由（戸田中央医科グループ 戸田中央総合病院）

○学会長特別賞

柏崎 里呼（上尾中央医科グループ 上尾中央臨床検査研究所）

森 真澄（獨協医科大学埼玉医療センター）

樋口 翔大（埼玉県立循環器・呼吸器病センター）

○埼臨技奨励賞

関 穂乃花（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻）

飯島 竜星（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻）

菅原 海莉（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻）

福田満理奈（女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科 栄養科学専攻）

（文責：奈良豊）



優秀発表賞 受賞者



学会長特別賞 受賞者

令和元年度 第2回検査室運営研修会 開催される

令和2年2月18日(火)午後7時より大宮ソニックシティ906号室にて、令和元年度 第2回検査室運営研修会が開催された。「医療法改正後の検査室は、今・・・?～現状と今後～」と題して、1. 改正医療法の目的とその本質 2. QMS文書(手順書・台帳)作成後の実際の運用方法とは 3. 立入(外部監査)の現状とその対応 4. 精度保証と機種・システム選定基準を考えるの4点についてオーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社 クリニカルラボラトリー事業部 清 康一氏にご講演いただいた。



2018年12月に施行された改正医療法の目的・本質は、いつ・誰が実施しても一定の品質で検査結果を提供することであり、規定を決め実行することで成果をあげることにある。「規定・手順書・様式」を作成、それを職員に教育・周知し、日常業務として実行する。得られた記録を定期確認・評価することで、維持管理できているか点検し、不適合な事象に対し是正や予防の処置を行う事が重要となっている。立入検査の現状は、事前に該当施設へ情報が発信され、実際の立入では手順書や作業書・台帳等の文書類の確認程度の都道府県が多いが、一部では詳しい検査技師が派遣され、詳細まで確認し、不備な内容を指摘している地域も出てきている。機器の状態を把握するためコントロールを使用し、内部精度管理を行っている。今後の機種選定には、何らかの異常が発見された際、より素早い原因究明のための機能・システムを考慮する必要がある。

検査室は、これまで質の高い検査結果を迅速に報告することが求められてきた。昨今はそれに加え、診療支援等病院内での様々なニーズへの対応、効率化と省力化によるコストダウンが求められている。日々の「記録(データ)」を分析することで現状を把握、是正・予防していくことで様々なニーズに対応でき、検査室の更なる質の向上が見込まれ、管理・運用に役立てていくことが重要であると感じた。

(文責：笹野勝年)



第48回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：令和2年12月6日(日)

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：躍動

サブテーマ：～『技』と『業』の融合～



演題の募集について

第48回埼玉県医学検査学会
学術部長 木暮 憲幸

令和2年5月1日より一般演題の募集を開始いたします。今月号では申し込み方法についてお知らせいたします。多数のご応募をお待ちしております。

1. 演題申し込み資格

- 1) 発表者は今年度の技師会費を納入した方（以下、会員）に限ります。
- 2) 共同発表者は原則会員とし7名以内とします。
- 3) 非会員の共同発表者がいる場合は学会事務局にご連絡ください。
※なお、学生の発表については上記資格を問いません。

2. 演題、抄録原稿の申し込み方法

- 1) 会員の方
日本臨床衛生検査技師会総合情報システム（JAMTIS）を用いたWebでの演題・抄録登録をしてください。
※第48回埼玉県医学検査学会ホームページからJAMTISにリンクできます。
※ログイン時に会員番号とパスワードを使用します。
演題・抄録登録（変更）時にJAMTISより「受領メール」が自動送信されます。受領メールが届かない場合はメールアドレス・登録手順をご確認ください。数日経過しても届かない場合は、お早めに学会事務局へお問い合わせください。
- 2) 学生の方、コマーシャル演題
演題申込書、抄録原稿ファイルを第48回埼玉県医学検査学会ホームページからダウンロードし、学会事務局へ電子メールで送付してください。「受領メール」は演題・抄録受付後に学会事務局から数日中に返信いたします。

3. 抄録の作成要領

- 1) 会員の方
JAMTISを用いたテキスト入力方式、ファイルアップロード方式のいずれかで作成してください。ファイルアップロード方式で使用するMicrosoft Wordファイルは、学会ホームページからもダウンロードできます。
- 2) 学生の方、コマーシャル演題
学会ホームページからダウンロードしたファイルにMicrosoft Wordを使用して抄録を作成してください。
- 3) 一般演題・学生演題の本文は26文字×18行×2段=936文字以内です。
- 4) 句読点はカンマ「,」、ピリオド「.」を使用してください。

4. 演題・抄録

受付開始日 : 令和2年5月1日(金)
演題・抄録締切日 : 令和2年7月15日(水)
※演題・抄録の締切日の延長は、原則として行いません。

5. 発表形式

パソコンを使用した口演形式のみを予定しています。

6. 申し込み演題の採否

- 1) 採否については実行委員会に一任願います。
- 2) 採否および発表時間・会場については、後日電子メールにて通知いたします。

7. 問い合わせ先

第48回 埼玉県医学検査学会 実行委員会事務局
事務局長 猪浦 一人
〒349-1105 埼玉県久喜市小右衛門714-6
埼玉県済生会栗橋病院
TEL : 0480-52-3611 (内線 : 86320)
FAX : 0480-53-0579
mail : kensa@saikuri.org

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 遺伝子解析の基礎 シリーズ2

主催 公衆衛生検査研究班研修会

実施日時：令和2年1月17日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：専門教科ー20点

講師：白神 博（サーモフィッシャー・サイエンティフィック）

協賛：サーモフィッシャー・サイエンティフィック

参加人数：会員13名

出席した研究班班員：穴原賢治 立塚梓 石井孟 鈴木智子 吉田翔平 鈴木勤

研修内容・感想など

今回は、白神氏による「遺伝子解析の基礎 シリーズ2 ～PCR講習と操作上での注意点など～」というタイトルの講演だった。

まず、ヒト遺伝子の話に始まりPCR・電気泳動法の原理・操作に話はすすんだ。遺伝子検査の際必要とされるPCR酵素（バッファー・鋳型DNA・プライマー・dNTPs・DNAポリメラーゼ）などが1つの容器にまとまったマスターミックスタイプには入れ忘れを防ぐことができ、扱い易そうと意見が飛びかった。また、個人により癖がありそうなピペット操作についても基礎から説明があり操作の再確認ができた。最新の泳動システムにおいては問題視されていた発がん性を有するエチレンブロマイドを使用しておらず、安全性向上にも驚きを感じた。実習では白血病由来の培養細胞から作成したcDNAサンプルを使用し検査実習を行った。とても操作が簡便で参加者のなかには遺伝子検査に携わっていない参加者もいたが、おおむね良好な検査結果が得られた。

おわりに、将来臨床検査部門において中核の一つとなるであろう遺伝子検査について、実習を含めた有意義な時間を参加者と共有できた。引き続き遺伝子検査シリーズを紹介していきたいと考えた。

（文責：鈴木勤）

テーマ Let's 供覧!! あなたはどう見る? Part. 9 — 精度管理的視点を含めて —

主催 細胞検査研究班

実施日時：令和2年2月20日 19時00分～21時00分

会場：浦和コミュニティーセンター 13集会室 点数：基礎教科ー20点

講師：大谷奈穂・松本健宏・野本伊織

参加人数：会員61名 非会員2名

出席した研究班班員：加藤智美 山崎泰樹 鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 大谷奈穂

松内萌 松本健宏 野本伊織 金守彰

研修内容・感想など

症例解説1（問題1～5）

講師：大谷 奈穂（埼玉県済生会川口総合病院）

症例解説2（問題6～10）

講師：松本 健宏（戸田中央臨床検査研究所）

集計結果

講師：野本 伊織（埼玉県済生会川口総合病院）

「Let's供覧!!あなたはどう読む?」は、今年度9回目となる近年恒例の企画であり、各施設や個人の精度管理を主な目的として行っている。埼玉県内の各施設へ10症例の細胞像写真と設問（5者択一形式）をCDで送付し、事前に施設回答・個人回答を回収し、各設問の解答・解説・集計結果を研修会にて報告するという形式で行った。今回は、前年に引き続き回答の収集

をアンケート回答ソフト（クエスタント）を用いて行い、26施設、80名（当日参加者7名）から回答があった。設問症例の内訳は、婦人科2症例、呼吸器・乳腺・甲状腺・唾液腺・体腔液・泌尿器・消化器・髄液各1症例ずつであった。

研修会では、まず各設問の細胞像を提示し、事前にクエスタント未回答者にはその場でスマートフォンを利用し回答してもらった。次に大谷技師と松本技師より5症例ずつの解答および解説が行われた。症例によっては日常的に他の組織型との鑑別が難しく回答が分かれるものや普段あまり目にするものない稀症例もあったが、それぞれの細胞所見および他との鑑別ポイントを中心に解説がなされ、自己の所見の取り方を見直す良いきっかけとなった。次に、野本技師より回答の集計結果が報告された。今回は前回と比べ、回答期間を早くかつ長期間で（1月14日～31日）設定したが、個人回答80名、施設回答26施設とほぼ前回と同様、個人回答はやや下回った結果であった。全設問を通じての正答率は、施設回答で86.9%、個人回答で79.0%と概ね良好な結果であった。設問別でみると、耳下腺・甲状腺・自然尿の正答率が他に比較してやや低く、日常診断における課題や稀症例の経験値の低さが要因と考えられた。個々が所見の取り方や知識を高めていくことは当然ながら、周囲の方々と日々のディスカッションを通じて、お互いの知識を高め合っていくことが重要であると改めて認識させられた。

回答方法や期間などに関しては多くの会員に参加していただけるよう検討を重ねていきたい。また今後も「どう読む？」の要素を大切にしながら、精度管理としての役割をより果たしていけるような出題症例にも十分考慮していきたい。

（文責：加藤智美）

テーマ ICTとAST活動の実際 ～ 感染症専門医が臨床検査技師に求めること～

主催 微生物検査研究班

実施日時：令和2年2月21日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講師：樽本 憲人（埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科）

参加人数：会員53名 賛助会員4名

出席した研究班班員：渡辺典之 永野栄子 砂押克彦 酒井利育 牧俊一 小棚雅寛
毛利光希 今井芙美

研修内容の概要・感想など

今回は樽本氏による「ICTとAST活動の実際～感染症専門医が臨床検査技師に求めること～」というテーマだった。

近年我々検査技師は本来の検査業務だけでなく、チーム医療の進歩とともに、さまざまな役割を求められるようになってきている。特に微生物検査技師においては、ICTとASTといった場での活躍が求められている。この2つの活動は、活動内容が一部重複することや人員の関係から兼務する技師が多いと思われ、その役割の線引きに悩む技師も多いのではないかと。

講義では、院内感染管理と抗菌薬の適正使用支援といった明確な目標に即した活動内容が示され、シンプルで理解しやすいものだった。

ICT、ASTの活動に対し、検査技師に求められる比重は同様ではない。ICTでは耐性菌の検出状況や、中間データの迅速報告など求められる役割や比重は大きいですが、ASTでは無菌部位からの微生物検出状況など求められる役割はある程度限定的になるという貴重な意見も聴くことができた。求められる役割が明確になることで、より効率的な活動ができると思った。

また、現在動向が注目されている新型コロナウイルス“COVID-19”についても最新の知見が紹介された。標準予防策を通常業務の中で運用する際の注意点や、科学的かつ経験に基づく感染制御策は大変参考になった。

今回の研修会では、今日から現場で活用することができる実践的な内容であった。

（文責：牧 俊一）

テーマ ライブデモから学ぶ消化管エコー

主催 生理検査研究班

実施日時：令和2年2月21日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：基礎教科ー20点

講師：長谷川 雄一（成田赤十字病院）

参加人数：会員70名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 家城正和 高梨淳子 田名見里恵 武藤由里子
横尾 愛

研修内容の概要・感想など

今回の研修会は「ライブデモから学ぶ消化管エコー」と題し、長谷川氏を講師に迎え、消化管エコーのスクリーニング方法習得をテーマに開催した。消化管の観察に適した機器の設定から始まり、胃から大腸まで、解剖学や疾患画像動画を交えて系統的走査法の説明があった。

今回はキャノンメディカルシステムズ株式会社のご協力のもと、講義と連動した内容で、講師によるデモンストレーションが行われた。講義資料と同じ画像を、リアルタイムで解説を交えながら描出することで、受講者はより理解を深めることができたと思われる。

消化管エコーは、動く臓器を観察するため技術を習得しにくい領域であるが、この研修会では講師の描出する消化管画像で「ここまで見える」「こうすれば見える」という実践に即した方法とともに、系統的走査法の重要性を学ぶことができた。今回の研修会は受講者のスキルアップに寄与し、有益であったと思われる。

(文責：田名見里恵)



令和二年度埼臨技会員名簿作成についてのお願い

1. 新入職員の会員登録はお済でしょうか？

令和2年5月31日(日)の登録情報をもとに名簿作成いたします。名簿掲載希望の方は期日までに登録をお願いします。

2. 勤務先が変わった方、登録変更はお済でしょうか？

今年度より異動等で勤務先が変わった方、勤務先の変更はお済でしょうか？まだの方は日臨技ホームページの会員のページより勤務先変更を速やかに行うと共に、埼臨技事務所にご連絡ください。

埼臨技への連絡がないと郵便物の配送や各連絡が前施設へ届くこととなり、お互いに迷惑を被ることとなります。皆様のご理解及びご協力をお願いいたします。

3. 令和二年度会員名簿の配布および名簿不掲載のお申し込みについて

埼臨技会員名簿は、会員の所属する施設、賛助会員、各研究班および希望される会員個人へ配布することとします。

会員名簿の配布を希望する方、また会員名簿への不掲載を希望される方につきましては、下記の通りお申し込みいただきますようお願いいたします。

尚、以前より不掲載を希望されていた方につきましては、本年度も継続いたしますので連絡は不要です。

申込期限：令和2年5月31日(日)

メールまたはFAXでお申込み下さい。

件名(標題)を「勤務先変更」、「名簿配布希望」または「不掲載希望」として、会員番号および氏名、勤務先変更の場合は新勤務先を送信して下さい。

連絡先：公益社団法人埼玉県臨床検査技師会事務所

TEL：048-824-4077 FAX：048-824-4095

E-mail：sairingi@sairingi.com



令和元年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第12回 理事会議事録

日 時：令和2年3月12日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事) 神山 矢作 松岡 小山 濱本
奈良 神嶋 菊池 長澤 伊藤
笹野 石井 神戸 山口 猪浦
鳥山 阿部 久保田

(監事) 遠藤

欠 席：(理事) 岡田 長岡 小島 濱田

(監事) 細谷

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は18名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(令和2年2月13日～令和2年3月11日)

2月13日(木) 令和元年度第11回理事会：

神山、矢作、小山、濱本、奈良、
小島、菊池、長澤、濱田、笹野、
石井、神戸、山口、猪浦、阿部、
久保田、遠藤

2月13日(木) 第1回日臨技新型コロナウイルス
感染症拡大対策本部会議：松岡

2月15日(土) 新型コロナウイルス検疫作業補助
：神山、猪浦

2月16日(日) 新型コロナウイルス検疫作業補助
：神山

2月16日(日) チーム医療推進学会：

神山、小山、伊藤、菊池

2月17日(月) 第2回日臨技新型コロナウイルス
感染症拡大対策本部会議：松岡

2月18日(火) 令和元年度第2回検査室運営研修
会：長澤、猪浦、濱田、笹野、
菊池

2月22日(土) 会計部入力作業：阿部

2月27日(木) だより490号編集会議(メール会議)
：奈良、長岡、小島、神嶋、菊池

2月27日(木) 全国「検査と健康展」中央会場打
合せ(日臨技理事と)：

神山、矢作、長澤、濱田、伊藤、
笹野(山下：オブザーバー)

2月28日(金) 青年部会議(メール会議)：

奈良、濱本、神嶋、神戸

3月2日(月) ホームページ委員会会議(メール
会議)：濱本、矢作、小山、奈良

3月7日(土) 会計部入力作業：石井、神戸

3月8日(日) 東武医学技術専門学校卒業式来賓
：小山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 日臨技より第72回「保険文化賞」の推薦依
頼があった。

2) 2月13日(木) 第1回日臨技新型コロナウイルス
感染症対策会合に松岡副会長が出席し
た。

3) 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会から
合同企画乳腺勉強会に関する共催依頼が届
き、請書を返送した。

4) 2月15日(土)・16日(日) 新型コロナウイルス
検疫作業補助に神山会長、猪浦常務理事
が参加した。

5) 2月17日(木) 第2回日臨技新型コロナウイルス
感染症対策会合に松岡副会長が出席し
た。

6) 埼玉医科大学より第11回卒業式の臨席依頼
が届いた。松岡副会長を派遣することとし
た。(その後来賓要請中止の連絡があった)

日時：令和2年3月14日(土) 13:00～

会場：埼玉医科大学日高キャンパス

創立30周年記念講堂

7) 埼玉県立大学より入学式の案内が届いた。
祝電にて対応することとした。

日時：令和2年4月2日(木) 10:30～

会場：埼玉県立大学 講堂

8) 日臨技より「新型コロナウイルス感染症に
ついての相談・受診の目安」を踏まえた対
応についてが届いた。

- 9) 日臨技より新型コロナウイルス (COVID-19) 厚生労働省からの感染症対策支援員の派遣要請についてが届いた。
 - 10) 川越市より次年度の精度管理専門委員の推薦依頼が届き、推薦書を送付した。
 - 11) 埼玉県糖尿病協会より全国糖尿病週間行事後援の御礼が届いた。
 - 12) 日臨技より「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が届いた。
 - 13) 日臨技より新型コロナウイルス感染症の発生をふまえたイベント開催の取り扱い等についてが届いた。
 - 14) 埼玉県立大学より卒業式中止の連絡があった。
 - 15) 日臨技より医療技術部門管理資格認定制度の受講について (周知) が届いた。
 - 16) 文京学院大学より学位記授与式中止の連絡があった。
 - 17) 3月8日(日)東武医学技術専門学校卒業式に小山常務理事が出席した。
 - 18) 2月8日(土)2019年度関甲信支部・首都圏支部人材育成研修会の派遣報告書を提出する。
- 2 総務部**
- 1) 2月27日(木)埼臨技だより 第490号編集会議 (メール会議) を行った。
 - 2) 2月28日(金)青年部会議 (メール会議) を行った。
 - 3) 「埼臨技だより」第490号3月15日発行予定
 - 4) 3月2日(月)ホームページ委員会会議 (メール会議) を行った。
- 3 事業部**
- 1) 2月28日(火)令和元年度第2回検査室運営研修会を開催した。
 - 2) 2月27日(木)に全国「検査と健康展」中央会場 (埼玉) 説明会が行われた。
- 4 学術部**
- 1) 理事研究班合同会議を4月上旬に行う予定であったが、開催を予定していた会場の使用見合わせを受け会場を変更、また今後の状況で開催の延期も検討中である。
 - 2) 日臨技推進事業に推薦した20研修の日臨技への報告が完了した。14研修会が60人の定員を超える研修会であった。
- 3) 埼臨技会誌Vol.66 No.3 3月15日発刊予定
- 5 精度保証部**
- 特になし
- 6 会計部**
- 1) 令和元年度正会員費2名10,000円、入会金2名分2,000円 合計12,000円の入金があった。
 - 2) 株式会社石井印刷に埼臨技だより第489号印刷代113,553円を支払った。
- 7 精度管理委員会**
- 1) 令和元年度 埼玉県医師会臨床検査精度管理調査報告会は中止となった。
- 8 一都八県会長会議**
- 1) 2月9日(日)令和元年度第3回一都八県会長会議の派遣報告書を提出する。
- 9 日臨技関甲信支部**
- 特になし
- 10 日臨技**
- 特になし
- 11 第48回埼玉県医学検査学会**
- 1) 2月7日(金)第48回埼玉県医学検査学会第4回実行委員会の議事録を提出する。
- Ⅲ. 承認事項**
- 1 事務局**
- 1) 会員動向(令和元年度分)
令和2年3月1日現在
会員数 3,152名[平成30年度会員数3,027名]
(新入会員 298名)
賛助会員 81社[平成30年度 82社]
承認された。
 - 2) 令和元年度臨時会員総会、総会役員の変更について
承認された。
- 2 総務部**
- 1) 青年部新任委員の選任について
青年部新任委員として田村誌緒里氏 (東武医学技術専門学校) を選任したいと、神嶋理事より発言があり、審議の結果、承認された。
- 3 事業部**
- 特になし
- 4 学術部**
- 1) 令和元年度埼臨技会誌優秀論文賞候補者に

ついて

上記の件について、鳥山理事より発言があり、審議の結果、承認された。

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

7 精度管理委員会

特になし

8 第48回埼玉県医学検査学会

1) 実行委員の変更について

転勤に伴い、安田直樹氏（JCHO埼玉メディカルセンター）から三瓶祐也氏（JCHO埼玉メディカルセンター病理診断科）に変更したい。

承認された

3 事業部

特になし

4 学術部

特になし

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

IV. 議題

1 事務局

特になし

2 総務部

特になし

あ と が き

今年の春は、今まで当たり前に行っていたことができなくなっています。理由は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにいろいろな対策がされているからです。学生の頃、病気の歴史？ みたいな授業があったことを思い出し、ネットで調べたところ、立川昭二先生によるご自身の著書『病気の社会史』を使っただけの授業だったようです。授業内容はすっかり忘れていましたが、以下に立川先生の引用文を示します。「疫病とは、戦争、天災、貧困と深い相関関係をもっているが、中世末期とペスト、ルネサンスと梅毒、産業革命と結核、近代化とコレラのように、時代の激動期、社会の変革期に新しい疫病が出現・流行するという歴史的因果関係をもっている。」とのこと。今が激動期・社会の変革期なのでしょうか？ どちらにしても、手洗い・うがい・検温などの健康管理、新型コロナウイルスに対する正確な情報収集、いざという時に備えて臨機応変に動けるような体制を作っておくことが重要なと思います。皆で協力して新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越えたいですね!!

(小島 記)

